

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

HOKUTO TIMES

社会医療法人北斗会 大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No.

52
2017/10



ADLシミュレーターで自宅に近い環境を作り 入浴動作訓練等を行っています

Zoom Up!
OozuchuoHospital



【入浴動作訓練風景】

今号は、今年で開設11年目を迎える回復期リハビリテーション病棟についてご紹介させていただきます。

回復期リハビリテーション病棟とは、脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの病気で急性期を脱しても、まだ医学的・社会的・心理的なサポートが必要な患者さんに対して、多くの専門職種がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした病棟です。医療制度上、入院できる病名、発症から入院までの期間、入院できる期間が決められており、主に脳血管疾患や大腿骨骨折等の患者さんが入院されています。身体が思うように動かせない、食べられない、話せない等、なんらかの障がいが残った方が多く、病気によって入院期間は60～150日（一部180日）と定められている中で、在宅復帰を目指してリハビリに励んでいます。

体調を整えつつ集中的なリハビリを行うことで在宅復帰・社会復帰を目指しています。

日々の入院生活は、まず患者さんの病気の管理が基本となります。そのうえで、数か月間の入院を経て家庭や社会への復帰を目的に、日常的な食事や歩行、排泄、入浴などの動作を改善するためのリハビリ計画を立案します。

現在は、重症な方への対応が可能な入院基本料1を届けていますので、専従の言語聴覚士（言語訓練や嚥下訓練を専門に行なうリハビリスタッフ）やMSW（医療ソーシャルワーカー）も配置され、より充実したリハビリが行なわれています。その結果、8割以上の方が在宅復帰（一部施設入所を含む）されており、入棟時の日常生活動作から一定以上の改善が見られた患者さんも5割を超える成果を上げています。

患者さん・ご家族の気持ちに寄り添い、退院までチームでサポートします。

患者さんにとって「回復期」は集中的なリハビリテーションによって機能回復が最も期待できる時期であると同時に、心理、社会、経済的問題も多々生じやすい時期で、「手足の麻痺は元に戻るのか」「退院した後一人で生活できるのか」など多くの不安を抱えていらっしゃいます。当病棟では、このような患者さんに対して、医師や看護師はもちろん、ヘルパーやリハビリスタッフ、MSWを中心に多職種が一体となって各専門分野からチームでサポートを行っています。

入棟時から退院まで1人の看護師が担当するプライマリーナーシングという看護提供方式を採用、リハビリスタッフも個別担当制をとっています。入棟期間中は、同じスタッフが関わることで、患者さんやご家族と信頼関係を築きながら、病気の管理は勿論のこと、ご本人・ご家族の精神的



うらかな小春日和のなか
屋上庭園でリハビリを行っています

Zoom Up!
OozuchuoHospital



【屋外での訓練風景】

なケアやご家庭の事情を考慮した退院支援が行えるよう努めています。

リハビリテーションを進めていく上では、週に2回多職種合同カンファレンスを開催し、患者さんに関わる全ての職員が、患者さんと共に病状及びリハビリの進捗状況を確認し、今後の目標を評価・修正します。このカンファレンスには、ご家族も参加されますので、患者さんの現状を知っていただくと共に、ご家族の希望もお聞きして退院支援に取り入れています。退院が近くなると、担当ケアマネージャーやサービス提供事業所とも連携をとり、自宅退院に際して不安な状況が無いかを再度確認、MSWからは介護保険等退院後に必要なサービスのご案内をさせていただきます。

このように、回復期リハビリテーション病棟では、残された機能を最大限に活かしてその人らしい生活を取り戻すために、多職種が入院から退院まで患者さん・ご家族に一貫して関わり、担当看護師はチームの中でコーディネーター的役割を果たしながら患者さんをサポートしています。実際にどのようにリハビリが行なわれているかについてご説明します。



合同カンファレンス



調理訓練

日常生活動作の改善に繋げるために、365日休まずリハビリを提供しています。

患者さんが入棟されたら、まず看護師・リハビリスタッフ等が日常生活動作（ADL）の評価を行ない、患者さんのADL能力で、何が保たれ、何が障がいされているかを確認します。また、障がいされた機能はどの程度回復する見込みがあるかも評価し、それらを基に、病状や患者さん・ご家族の希望等を確認した上で最終ゴールを設定し、看護計画やリハビリ計画を立てます。そして、1人の患者さんに複数名のリハビリスタッフが担当となり、1日6～9単位（120～180分間）のリハビリを毎日提供できるようにしています。

障がいの残った患者さんが自宅で以前と同じような生活をするためには、立つ・歩くだけでなく様々な日常生活動作を獲得する必要があります。例えば、退院後に調理が必要になるケースに対しては、訓練室に設置されているキッチンで調理動作を訓練します。このキッチンは、流し台の高さの調整が可能であり、より自宅の状況に近い環境で調理訓練が行なえるようになっています。また、入浴動作については、まず訓練室に設置してあるADLシミュレーターで立ち座りや浴槽の出入りの

訓練を行った上で、実際に病棟でリハビリスタッフや看護師・ヘルパーの介助のもと入浴を行ないます。当病棟には、一般的な住宅と同じ大きさの浴槽も設置されていますので、退院の目途がついた段階で、その浴槽でのリハビリを行い、在宅と同じような環境での入浴動作の獲得を確認します。

「できるADL」から「しているADL」にする為に病棟で過ごす時間を大切にしています。

しかし、訓練室等で行われる専門的なリハビリは長くても3時間であり、それ以外の時間をベッドで寝て過ごす、リハビリの効果は半減します。効果的なリハビリのためには、病棟で過ごす時間もリハビリに繋げていくことが重要です。訓練室で獲得した「できるADL」を、日常生活の中で繰り返し反復訓練を行なうことで「しているADL」にすることが、患者さんの自信にも繋がっていきます。

例えば、麻痺のある患者さんのトイレ動作の自立のためには、まず訓練室で車椅子の設置場所を決め、手すりを持って立つ訓練、乗り移り動作、



トイレ動作訓練

ズボン・下着の上げ下ろしなどの訓練を行ないます。その後、病棟でも看護師・ヘルパーが、リハビリスタッフにケア方法を確認し、同じ方法でトイレ動作が行なえるように援助します。リハビリスタッフが実施している訓練方法を基に、病棟で継続して訓練を行なうことが、一連の動作を習熟し、安定したトイレ動作の獲得に繋がります。

これらの日常生活動作は、毎週評価を行ない数値化することで、小さな進歩でも変化が見えるようにしています。

このように生活訓練を行ないながら、入院期間中にリハビリスタッフが患者さんのご自宅に訪問し、住宅環境を確認したうえで段差解消や手すりの設置等のアドバイスを行なうと共に、自宅を想定したより実践的なリハビリを取り入れていきます。

回復期リハ病棟には、ある程度の機能回復を目指すことから、数か月単位で入院されている方が多くいらっしゃいます。入院期間が長くなると単調になりがちですので、季節の移り変わりを感じていただくために、夏は七夕飾り、冬はクリスマスツリーを患者さんと共に飾り付けています。今年の7月には、大きな笹をデイルームに準備、看護スタッフ・リハビリスタッフが患者さんと共に飾り付けを行いました。願い事を書いた短冊には「1日でも早く退院できますように」という患者さんの願い事がたくさん書かれており、中にはお孫さんからの「じいちゃん、早く良くなってね」というかわいい願い事もありました。ご家族の思いが書かれた短冊が、患者さんのリハビリへの意欲に繋がった微笑ましいエピソードでした。



七夕の飾りつけ

中のリハビリは、ご自宅に帰るまでのリハーサルでもあります。退院後に続く長い患者さんの人生が、その人らしく豊かなものであるように、少しでも不安は解消して退院して頂きたいと願っています。

退院後の外来受診時に病棟に寄ってくださる患者さんもおられ、お元気なお姿を拝見すると私たちまで嬉しくなります。これからも、回復期リハビリテーション病棟スタッフが一丸となって、患者さんご家族と共に頑張ってまいります。

入院生活の中でも季節を感じていただけるようにしています。

大きなご病気やお怪我で長期間入院された後に元の生活に戻る際には、患者さんやご家族にとっても、不安なことがたくさんあると思います。入院

からだに効く
レシピ

Point
梨の代わりに
季節の果物を入れても
おいしいです。

大洲中央病院栄養科

梨と豆乳のプリン

■材料 (4個分)

<p>*コンポート 梨…………… 1/2個(150g) レモン汁……………大1 砂糖……………大1</p>	<p>*豆乳プリン 無調整豆乳…………… 250cc 粉ゼラチン……………1袋(5g) 砂糖……………大3 水……………大1</p>
---	--

■作り方

- ①水に粉ゼラチンをふり入れて混ぜてふやかす。
- ②梨を小さく角切りにして耐熱容器に入れ、レモン汁と砂糖(コンポート分)を加えて混ぜラップをふんわりとかけて、600Wのレンジで3分加熱して粗熱を取る。
- ③小鍋に無調整豆乳を入れて、中火で熱し小さな泡が立ってきたら、砂糖(豆乳プリン分)を加えて混ぜ火からおろす。そこにふやかしたゼラチンを加えて混ぜ、梨のコンポートを加えて混ぜてプリン液を作る。
- ④容器にプリン液を流し冷蔵庫で冷やし固めて完成。

すぐそばにある絵画
院内美術館 20

『径』
高山 辰雄 作

せいじつ
静謐で瞑想的な心象風景

今回ご紹介するのは、2階リハビリスタッフステーション受付にある、幻想的な画風を特徴とする日本画家、高山辰雄の『径』。宇宙における自然に自らの心の内奥を託したこの風景画には、人間の営みの集積と歴史そのものである「路」が描かれ、人々のささやかな生活への深い共感が感じられます。

高山辰雄/1912年大分生まれ/松岡映丘に師事する。1935年芸術院賞、1940年芸術選奨、芸術院会員、文化功労者、文化勲章受章。

次号は大沼 映夫「母子」をご紹介します。

健康講座

■会場 大洲中央病院 2階 第一研修室

■時間 午後2:00~3:00

※都合により内容が一部変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。※場所を変更する場合があります。

【開講予定】

- ◎10月26日(休)
高脂血症について~脳梗塞・心筋梗塞にならないために~ ……内科医師
健康的なダイエットについて ……リハビリテーション科
- ◎11月16日(休)
季節性流行性疾患から自分や家族を守ろう~ノロウイルス~
季節性流行性疾患から自分や家族を守ろう~インフルエンザ~
……………環境保全院内感染防止対策委員会
- ◎12月21日(休)
高齢者の肺炎について ……内科医師
介護保険、介護サービスについて学んで有効活用を ……社会福祉士

参加自由
入場無料

看護学生の臨地実習が 始まりました

当院では、今年度より人間環境大学松山看護学部の臨地実習を受け入れることになりました。9月14日から基礎看護学実習として1年生5名を受け入れ、患者さんとの関わりを通して、看護職者の役割や機能、療養環境といった基礎的なところを学んでもらいました。当日は、私たちも緊張していましたが、実習生の皆さんは更に緊張しており、自分たちの学生時代もそうであったと懐かしく思い出しました。実習病棟では患者さんにご協力いただき、看護ケアの見学やお話をする機会を持つことができ、日を追うごとに実習生の緊張がほぐれていくのがわかりました。残念なことに、台風の影響から4日間の実習が3日間となり、実習生からは「もう1日あれば」と惜しむ声もありましたが、患者さんとの関わりの中で看護師になりたいという思いを再確認できたようでした。最後に、今回の実習にあたりご協力いただきました患者さん・ご家族の皆さま本当にありがとうございました。



臨地実習指導者 上甲 かおり

リスクマネジメント研修

8月10日、リスクマネジメント研修として「医療における個人情報の管理」をテーマに研修会が開催されました。全職員が参加できるように、同じ内容で4回の研修を行い、「個人情報の取り扱い」「専門職者としての守秘義務」「他医療機関への診療情報提供時の対応」などを改めて学び、医療者として個人情報を守ることの重要性について再確認しました。

病院における個人情報は、患者基本情報、健康保険証、入退院記録、生活背景情報、身体所見、処方箋、診療情報提供書など多岐に渡ります。これらの情報を基に私たちは日々医療サービスを提供させて頂いています。病院を利用される患者さんやご家族に対して、私たち一人一人が個人情報保護の目的を理解し、情報の取り扱いに十分配慮することは、安全・安心な医療を提供することに繋がります。この研修を活かし、適切な医療サービスを提供する以外の目的での安易な個人情報の利用をしないことを遵守し、日々の診療に取り組んでいきたいと思っております。



本館4階病棟 小嶋 広子

親睦会 in Summerの開催

平成29年8月7日リジェール大洲のBEER HALLに於いて、暑気払いを兼ねて親睦会を開催したところ、猛暑続きであったためか、なんと160名もの参加がありました。親睦会の企画でこのような多数の参加者は初めての事で、企画側としても大変やりがいのある催しでした。この企画は、日頃職務に忙しく職員間の親睦が希薄になりがちなことから、職員間の福利厚生並びにコミュニケーション活性化を目的として、病院の全面協力のもと開催しました。

余興として、当院の職員も参加している内子の和太鼓集団「轆達」による素晴らしい演奏もあり、食べ放題、飲み放題で和気あいあいの2時間半。普段あまり話す機会のない部署の方々と交流ができ、楽しいひと時でした。



放射線科 美濃 節雄

外来診療医師一覧表

診療科目	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
内科	1診	近藤 誠司	休診日	大久保啓二	大久保啓二	近藤 誠司	大久保啓二
	2診	山上 隆司		山上 隆司	井上 明子	山上 隆司	山上 隆司
	3診	井上 明子		井上 明子	近藤 誠司	大久保啓二	非常勤
	4診			清家 愛理	清家 愛理	竹越 大輔(第2-4)	
外科	1診	森岡 徹	休診日	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹
	2診	満谷 臨		満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨
整形外科	1診	栗田 英明	休診日	冲永 昌弘	栗田 英明	冲永 昌弘	冲永 昌弘
	2診						栗田 英明
泌尿器科		清水 公治	休診日	清水 公治	清水 公治	清水 公治	清水 公治
脳神経外科	1診(新患)	西原 潤		西原 潤	瀬野 利太	重川 誠二 末廣 諭(隔週)	橋本 尚樹(第1-3) 戸田 茂樹(第2-4)
	2診(再診)	瀬野 利太	瀬野 利太	西原 潤			
形成外科			休診日			森 秀樹(第1-3-5) 松満紗代子(第2-4)	

受付時間 午前8時00分～午前11時30分

診療開始時間 午前9時00分～ 担当医師は緊急手術などで変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。(休診になる場合あり)

休診日(10～1月) 救急診療のみ…11月3日(金)、12月23日(土)、12月30日(土)、12月31日(日)
休診日…火曜、水曜、10月9日(月)、11月23日(木)、1月1日(月)、1月8日(月)

お見舞い・面会時間 午後1時00分～午後9時00分

◎大洲・喜多地区の一週間の救急当番

- 金～日曜日…大洲中央病院
- 月曜日…市立大洲病院
- 火曜日…市立大洲病院
- 水曜日…加戸病院
- 木曜日…大洲記念病院(昼)、市立八幡浜病院(夜)

編集後記

鍋やおでん、熱燗が恋しい季節になりました。鍋をつつきながら一杯!…想像するだけで幸せになります。(笑)最近、夜の食卓の賑わいにおかずを一品という思いで、魚やイカを狙って時々釣りに出掛けますが、中々思ったようには釣れず、空っぽのクーラーを持ち帰る事も多々あります。魚との攻防戦に勝利し、釣れた時の喜びは大きく、味も格別感じられます。釣りも仕事も集中力が大切です。次の釣行を楽しみにしながら仕事に励みます。

発行/社会医療法人 北斗会 大洲中央病院
編集/広報委員会

寺尾 光司(事務部長・理事) /
京河 雅史(放射線科) / 伊場 紀子(看護副部長) /
道休 由佳里(看護師長) /
福田 修治(リハビリテーション科) /
大西 修平(リハビリテーション科) /
松本 奈緒(総務課) / 岡山 啓子(栄養科) /
中來田 友里恵(医事課)